

HOSEIミュージアムテーマ展示（対話する伝統と現代）

HOSEIミュージアム × 野上記念法政大学能楽研究所

能の伝統と現代

会期 2023年2月17日（金）～4月26日（水）

場所 HOSEIミュージアム ミュージアム・コア（九段北校舎1階）

能楽には「伝統芸能」と「現代に生きる芸能」という、二つの側面があります。本展では、能楽の価値や魅力を現代の社会に向けて発信してきた野上記念法政大学能楽研究所の数々の試みと、国際的にも認知度を高めてきた過去10年あまりの軌跡をご紹介します。

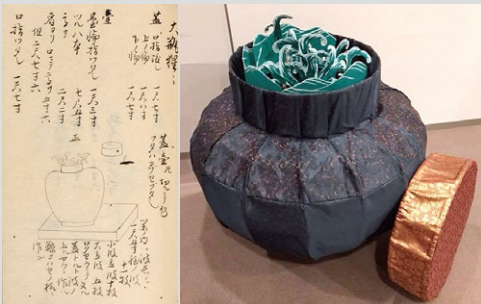


展示内容



【チェコ語の狂言VTR】

チェコ語で狂言を演じ、その魅力を広く伝えている団体「なごみ狂言会チェコ」。能楽研究所の特別企画として、芝山家と共に東京公演を行った（2016年7月）



【古伝書の記事に基づいて復元した能の舞台装置】

左の『観世流作物之図』を参考に、右の酒壺を製作した。写真は、蓋を開けて酒の波が飛び出した状態



【先端技術を用いた能舞台の復元】

図面を基にCGで再現した、寛永（1624-1644）頃江戸城二の丸の能舞台

その他、「二曲三体人形図」「光悦謡本」レプリカや英語版能楽全書の2023年刊行に向けた国際的な研究会の紹介パネルなどを展示予定

